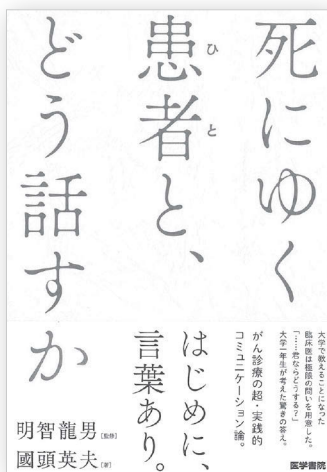




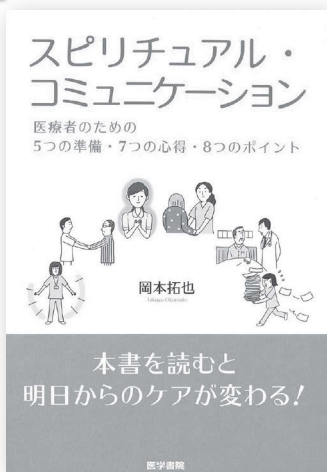
死にゆく患者と、どう話すか

明智龍男＝監修

國頭英夫＝著

本体 2,100 円＋税／A5 判・306 頁／医学書院／2016

「“緩和ケア”における不安」の一番の“くすり”は、きっとコミュニケーション。がん告知と積極的治療の中止（breaking bad news）の方法、DNR（do not resuscitate：心肺蘇生を行わないでください）の限界、インフォームドコンセントのあるべき姿とは？ 臨床の泥沼で最善のものを見つけるために知っておきたい信用と信頼のコミュニケーションスキルを学ぶ全 7 講。



スピリチュアル・コミュニケーション

医療者のための 5 つの準備・7 つの心得・8 つのポイント

岡本拓也＝著

本体 2,500 円＋税／A5 判・188 頁／医学書院／2016

スピリチュアル・コミュニケーションとは何か？ どうそれを実践するのか？ スピリチュアルケアの最も核心的な部分は「コミュニケーション」である。本書は、終末期や高齢者医療の現場で日々患者に向き合う医療者のために、日々のケアのなかでスピリチュアル・コミュニケーションをどう実践すべきかを、わかりやすく解説。具体的な臨床事例、著者らの経験を紹介しつつ、医療者が行うべき準備・もつべき心得、そして具体的なコミュニケーションのポイントを示す。